



鷹巣小学校児童による竹太鼓のオープニングセレモニー



思い思いの金額を競り札に書き込む模擬入札



北山たけしの歌謡ショー



長島の新鮮な魚貝類を購入する来場者ら



たくさんの大漁旗をなびかせ登場する模擬船おろし

11月27日、長島の新鮮な魚をたっぷり楽しんでもらい、日本一のブリの町を情報発信するイベント「第4回長島おさかな祭り」が薄井漁港で盛大に開催されました。

この日は、町内はもとより、町外からの来場者1万8千人が訪れ、会場はおい々にぎわいました。

4回目となった今回も、例年以上に自然豊かな環境のもとで育まれた魚や、特産品を一堂に集め、見て・食べて・長島に触れてもらおう」と計画されました。

会場では好評の模擬入札や魚の一本釣りのほか、漁船パレード、模擬船おろし、ブリ解体ショー、芸能ショー、遊覧船などで来場者を楽しませていました。

2千食が提供されたブリ試食コーナーでは、さしみやブリ汁、ブリカツ、ブリご飯などが振る舞われ、例年同様多彩なブリ料理を堪能しようと、長蛇の列ができました。

模擬入札では新鮮な魚貝類を安く手に入れようと、町内外から大勢詰め掛けました。先着順で申し込んだ競り人は、各自希望した金額を競り札に書き込み、競り落とした魚貝類を手には喜びました。

漁船パレードでは、大漁旗を揚げた町内の漁船が集結。波しぶきをあげながら勇壮に登場し、薄井漁港の岸壁で待ちわびた観客は、その姿に感動していました。

模擬船おろしでは、模擬船となった漁船から、紅白の餅投げがあり、大人も子どももわれ先となり餅ひろいに大はしゃぎでした。

ブリが当たる抽選会では、午後から2回行われ、見事抽選に当たった来場者は大喜びでブリを手にしていました。

このほか、会場は新鮮な魚が安くで手に入る出店、子どもたちが楽しめる金魚すくいなど、盛りだくさんの催しとなりました。